



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所  
 コード番号 3184 URL https://www.icda.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	6,745	18.4	405	72.2	410	72.7	264	64.7
2021年3月期第1四半期	5,696	△20.1	235	△23.4	237	△24.1	160	△39.2

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 283百万円 (64.7%) 2021年3月期第1四半期 171百万円 (△34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	125.77	—
2021年3月期第1四半期	76.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	14,667	6,935	45.7
2021年3月期	14,716	6,763	44.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 6,709百万円 2021年3月期 6,549百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,379	9.1	593	△11.6	596	△11.3	386	△14.2	183.85
通期	28,000	4.8	1,399	△4.2	1,400	△3.9	922	17.0	439.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	2,100,000株	2021年3月期	2,100,000株
2022年3月期1Q	207株	2021年3月期	207株
2022年3月期1Q	2,099,793株	2021年3月期1Q	2,099,867株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症対策として、三重県緊急警戒宣言及び三重県まん延防止等重点措置の発出により、経済活動の抑制が継続されておりましたが、従来より実施している既存顧客に対するフォロー活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移し、業績は新型コロナウイルス感染症の拡大以前の状況に戻りつつあります。しかしながら、世界規模の半導体不足による車両及び部品等の供給遅れ又は出荷停止等による業績に与える影響が懸念されます。

これらの結果、売上高は67億45百万円と前年同期と比べ10億48百万円(18.4%)の増収、営業利益は4億5百万円と前年同期と比べ1億70百万円(72.2%)の増益、経常利益は4億10百万円と前年同期と比べ1億72百万円(72.7%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億64百万円と前年同期と比べ1億3百万円(64.7%)の増益となりました。

#### ① 売上高及び営業利益

売上高は67億45百万円と前年同期と比べ10億48百万円(18.4%)の増収、営業利益は4億5百万円と前年同期と比べ1億70百万円(72.2%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

##### (自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、半導体不足の影響により一部商品の供給が鈍化しておりますが、既存顧客からの受注は堅調に推移しております。国産新車販売台数は前年同期比7.1%増の1,168台となりました。また、輸入車においては、国産新車販売と同様の状況ではありますが、新商品投入の効果もあり、輸入車販売台数は前年同期比45.8%増の105台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比9.5%増の1,273台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移したことと、新車販売店舗における中古車販売が増加したことにより、中古車販売台数は前年同期比17.7%増の2,531台となりました。

これらの結果、売上高は64億48百万円と前年同期と比べ9億46百万円(17.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3億77百万円と前年同期と比べ1億11百万円(41.8%)の増益となりました。

##### (自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化处理)は前年同期比1.3%減の2,489台となりましたが、前第3四半期連結会計期間以降、鉄及び希少金属類の資源相場が大幅に上昇した状況が継続しているため資源関連売上が大幅に増加いたしました。また、輸出関連売上についても回復傾向となっております。一方で、使用済自動車の在庫は、前年同期比39.8%減の1,929台となりました。これは、前第1四半期連結会計期間における中古車オークション市場の価格低迷により、使用済自動車の仕入が容易になったことで大幅に増加しておりましたが、当第1四半期連結会計期間においては中古車オークション市場の価格高騰の影響を受けたことにより減少いたしました。

これらの結果、売上高は2億97百万円と前年同期と比べ1億2百万円(52.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は89百万円と前年同期と比べ61百万円(225.5%)の増益となりました。

#### ② 経常利益

営業外損益においては、営業外収益は増加し、支払利息の減少等により営業外費用は減少いたしました。これらの結果、経常利益は4億10百万円と前年同期と比べ1億72百万円(72.7%)の増益となりました。

#### ③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は4億10百万円と前年同期と比べて1億72百万円(72.7%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は1億28百万円となりました。これらの結果、当第1四半期連結結果計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は2億64百万円と前年同期と比べ1億3百万円(64.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より48百万円減少し、146億67百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少1億89百万円、減価償却等による有形固定資産の減少71百万円、商品及び製品の増加1億43百万円等によるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より2億21百万円減少し、77億31百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少1億73百万円、借入金の減少1億51百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より1億72百万円増加し、69億35百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2億64百万円、配当金の支払1億4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2021年5月14日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	962,077	772,689
受取手形及び売掛金	393,052	403,919
商品及び製品	2,608,236	2,751,907
仕掛品	2,531	7,576
原材料及び貯蔵品	57,858	34,754
その他	226,732	299,597
貸倒引当金	△145	△155
流動資産合計	4,250,344	4,270,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,643,472	2,595,657
土地	5,535,455	5,535,455
その他（純額）	1,176,561	1,152,632
有形固定資産合計	9,355,489	9,283,746
無形固定資産	52,661	50,513
投資その他の資産	1,057,625	1,063,113
固定資産合計	10,465,776	10,397,372
資産合計	14,716,120	14,667,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,728,993	1,750,877
短期借入金	2,282,565	2,149,180
未払法人税等	314,760	141,147
前受金	1,397,071	1,416,546
賞与引当金	154,568	79,260
その他	540,309	661,203
流動負債合計	6,418,268	6,198,214
固定負債		
長期借入金	401,100	382,605
役員退職慰労引当金	310,831	313,816
退職給付に係る負債	753,779	763,914
その他	68,794	73,194
固定負債合計	1,534,506	1,533,531
負債合計	7,952,774	7,731,745
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	4,233,030	4,392,141
自己株式	△378	△378
株主資本合計	6,542,723	6,701,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,439	5,282
退職給付に係る調整累計額	2,539	2,820
その他の包括利益累計額合計	6,979	8,102
非支配株主持分	213,644	225,982
純資産合計	6,763,346	6,935,918
負債純資産合計	14,716,120	14,667,663

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	5,696,994	6,745,925
売上原価	4,519,792	5,332,130
売上総利益	1,177,201	1,413,795
販売費及び一般管理費	941,728	1,008,278
営業利益	235,472	405,516
営業外収益		
受取配当金	3,804	4,637
受取賃貸料	2,850	2,850
受取保険金	1,096	1,710
受取負担金	1,041	—
その他	772	2,832
営業外収益合計	9,565	12,029
営業外費用		
支払利息	6,402	4,719
支払手数料	468	1,135
その他	416	1,094
営業外費用合計	7,287	6,949
経常利益	237,751	410,596
税金等調整前四半期純利益	237,751	410,596
法人税、住民税及び事業税	75,558	130,676
法人税等調整額	△2,730	△2,144
法人税等合計	72,828	128,532
四半期純利益	164,922	282,064
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,573	17,964
親会社株主に帰属する四半期純利益	160,349	264,100

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	164,922	282,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,654	842
退職給付に係る調整額	378	344
その他の包括利益合計	7,033	1,187
四半期包括利益	171,955	283,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,307	265,223
非支配株主に係る四半期包括利益	4,648	18,027

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,502,030	194,963	5,696,994	—	5,696,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,353	5,059	9,412	△9,412	—
計	5,506,384	200,022	5,706,406	△9,412	5,696,994
セグメント利益	266,398	27,459	293,858	△58,385	235,472

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,385千円には、セグメント間取引消去△188千円、各報告セグメントに配分していない全社費用58,196千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,448,437	297,487	6,745,925	—	6,745,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,549	4,891	6,440	△6,440	—
計	6,449,986	302,378	6,752,365	△6,440	6,745,925
セグメント利益	377,646	89,377	467,023	△61,506	405,516

(注) 1. セグメント利益の調整額△61,506千円には、セグメント間取引消去541千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△62,048千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。